

令和7年第1回定例町議会 行政報告（追加）

令和7年3月17日提出

令和6年5月、北海道新幹線の整備主体である鉄道・運輸機構より、2030年度の札幌開業が困難であるとの報告がありました。

その後、国土交通省が組織する有識者会議において、工程短縮策の検討や開業時期の見通しについて議論が続けられてきましたが、3月14日に有識者会議の報告書が中野国土交通大臣に手交されたところであります。報告内容としては、2038年度末を新たな開業時期とする見通しが公表されました。なお、この報告では、難航しているトンネル工事などの進捗によっては、開業年度がさらに後ろ倒しになる可能性もあることが示唆されております。

開業が今から約14年後、もしくはそれ以降となることにより、これまで町が検討を進めてきた事業計画をはじめ、民間による投資や事業など様々な部分に影響が生じるものと考えられます。

新たな開業時期を踏まえ、今後、駅前広場や駐車場、都市施設等の整備スケジュールのほか、開業までの機運醸成、駅周辺のにぎわいづくりの進め方等、改めて精査していく必要がございます。

なお、現在町内で行われている高架工事やトンネル工事は、引き続き進められると伺っておりますので、今後も鉄道・運輸機構や北海道、各関係機関と連携を密にするとともに、新幹線開業に向けたまちづくりの歩みを進めてまいりますので、改めて皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以上、行政報告といたします。